

「作品」から世界を見つめよう

挨拶～原爆の写真によせて 他2編

本単元で育成する資質・能力

思考力 責任感

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、3つの詩で構成し、学習指導要領の「C読むこと」の指導事項「ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと」「ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること」「エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」、「B書くこと」の「ア 文章の形態を選択して、適切な構成を工夫すること。」「イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力ある文章を書くこと」「エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して表現に役立てること」を受けて設定したものである。A「挨拶～原爆の写真によせて」は、原爆の悲惨さを描きながらも、過去を忘れ、安穏と生活している私たちに危惧し、警鐘を唱える内容である。B「原爆小景」は原爆投下直後の悲惨な状況を生々しく描いた作品である。C「原爆詩集 序」は原爆で家族や自分の未来を失った悲しみや恨みを描いた作品である。同じ題材でありながら「表記」「構成」「表現」が異なり、それぞれの詩の特徴から、詩の要旨や作者の思いを読み取る学習につながると考える。また、Aは他の作品とは異色であり、過去を教訓とし、これからをどう生きるのかと、現代を生きる私たちへ問題を提起しているとも言える内容である。「戦争の記憶の風化」「被爆体験継承の体制の弱体化」など、広島、日本が抱える問題も緊迫している今、平和について考え、自分の意見をもつきっかけとなる単元である。

(2) 生徒観

第1回実施の実力テスト 正答生徒数

③ (1) 表現技法 (14/28人)

(3) 詩の□にあてはまる最も適切な言葉を、詩の中から一語で抜き出して書く。(14/28人)

(4) 詩の要旨を捉え、作者の思いを読み取る。(11/28人)

平成27年度広島県「基礎・基本」学力定着状況調査

中学校 生活と学習に関する意識・実態 (あてはまらない・まったくあてはまらない)

設問 (10) 国語の授業では、場面の移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意しながら、物語を読んでいます。82.56%

(11) 国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。77.91%

平成27年度広島県「基礎・基本」学力定着状況調査 生活と学習に関する意識・実態調査を活用した意識調査では、7～8割近くの生徒が、作品を読み進めるうえで必要な、場面・心情を表す言葉に着目したり、目的に応じて資料を読んだりしながら、自分の考えをもっている。しかし、目的に応じて語句を適切に選んだり、要旨や作者の思いを読み取ったりすることができていない。

(3) 指導観

指導方法の工夫・改善として、次の3点を取り入れる。

【①導入の工夫】

原爆に対する意識調査の結果を提示し、「学習者自身の戦争等に対する認知度」や「広島市の認知度が年々低下している事実」に直面させ、自分を含めた社会全体の平和への意識が低くなっているという課題に気付かせる。そして、その課題の解決に向け、平和について自分の意見を持ち、アピールする必然性を感じさせる。また訴えかけるときには、多方面から情報を得た方が説得力が高いことを理解させ、自分の意見をもつための材料として使う詩について、複数の詩を読んでその中から選んだり、組み合わせたりすることの有効性に気付かせる。

【②小集団での思考】

詩を読む場面では「詩を読むためのポイント」に沿って、詩を分析し、それぞれの詩の特徴に気付かせる。また、その分析から見出した特徴を手がかりに、5W1Hの視点で、詩の内容を読み解く。その際、詩を多面的に読ませるためにシンキングツール「Xチャート」を活用する。その後、各自の多面的な読みを視覚化したXチャートを使って交流を重ねさせる。自分とは異なる見方や考え方に気付き、受け入れることで、より深い理解や考えにつなげていくことが期待できる。

【③ふりかえりの充実】

学習指導要領 C-エにあるように、第3学年では学習した事柄を通して、自分や社会、世界について考え、自分の意見をもつことを目標としている。単に、その教材の内容が理解できるだけでなく、そこで身に付けた力や価値観などを生かそうとする態度も同時に育てる必要がある。学習の振り返りでは、めあてに対する自己評価に加え、意図的に他の分野と結びつけて考えさせるような観点を与えて、学習の振り返りを書かせる。他教科・他分野と関連させ考える体験をさせることで、単元終了後も学び続ける態度を身に付けさせることができる。

2 単元の目標

- 戦争や平和に関する詩や資料に関心を持ち、自分の考えを深めようとしている。【国語への関心・意欲・態度】
- 文章の形態を選択して、適切な構成を工夫することができる。【B書くこと ア】
- 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力ある文章を書くことができる。【B書くこと イ】
- 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して表現に役立てることができる。【B書くこと エ】
- 語句の効果的な使い方など、表現の工夫に注意して読むことができる。【C読むこと ア】
- 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価することができる。【C読むこと ウ】
- 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つことができる。【C読むこと エ】
- 詩や収集した資料に用いられている漢字を正しく読むことができる。【伝国 ウ (イ)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
平和に関する詩を読み、それらの詩を活用して平和について考え、アピールする言語活動を通じた指導			
① 文章や資料に関心を持ち、自分の考えをもとうとしている。 ② 詩に関心を持ち、作者の思いを捉え、自分の考えを深めようとしている。	① 文章の形態を選択して適切な構成を工夫している。(ア) ② 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力ある文章を書いている。(イ) ③ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して表現に役立てている。(エ)	① 語句の効果的な使い方など、表現の工夫に注意して読んでいる。(ア) ② 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。(ウ) ③ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。(エ)	① 詩や収集した資料に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ (イ))

4 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本単元の指導において取り入れる活動を通して育成する資質・能力は次のとおりである。

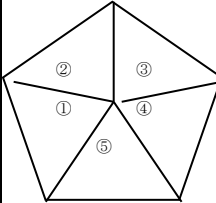
学習活動	育成する資質能力	具体的な姿
資料から課題や疑問をもつ活動	思考力	事象などから分析し，変化や矛盾に気付く
分析した事柄を関連付け，作者の思いを考える活動	思考力	整理・分類し，関連させながら考える
自分の考えを発信するための資料を作る活動	責任感	集団や社会のために自らの力を十分に発揮し，貢献しようとする意識をもつ

5 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「原爆に関する詩を読み，それらの詩を活用して平和について考え，アピールする」ことを言語活動として設定する。平和について考えるためには，多方面から情報を得て，自分の考えをまとめることが必要になってくる。自分の考えの根拠とするにふさわしい詩を選ぶために，複数の詩を読み比べることで，構成や展開，表現の工夫の仕方について評価する力を付けたり，戦争や平和に対する自分の意見を持たせたりすることができ，「B書くこと イ」の力を育むことが期待できる。また，平和について考え，まとめたことを千代中フェスタで配布するなどしてアピールする場を設けることで，相手意識と目的意識をもって，主体的に学習を進めることができる。自らの考えを発信する機会を通し，「発信する価値」や「発信する形態（詩）の良さ」，「発信する側の責任」について，考えが深まることを期待したい。

6 指導と評価の計画 (全8時間)

時	学習内容	評価																																				
		関	書	読	言	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)																															
1次	<p>課題の設定</p> <p>1 「資料を的確に読み取って課題を見つけ、解決の見通しをもつことができる。」</p> <table border="1"> <tr><td>① 今年(戦後)70年</td><td>%</td></tr> <tr><td>② 広島に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月6日8時15分</td><td>%</td></tr> <tr><td>③ 終戦日は、8月15日</td><td>%</td></tr> <tr><td>④ 長崎に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月9日11時2分</td><td>%</td></tr> <tr><td>⑤ 広島県で空襲にあったのは福山市と呉市</td><td>%</td></tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th>H7年</th> <th>H12年</th> <th>H17年</th> <th>H22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「広島原爆投下の正確な年・月日・時分」についての知識・理解(全て正解の場合)</td> <td>小学生</td> <td>55.7%</td> <td>35.2%</td> <td>49.6%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>74.7%</td> <td>63.0%</td> <td>67.6%</td> <td>55.7%</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成22年度実施 平和に関する意識実態調査(広島市対象)より</p> <p>○ 資料からわかること、その原因を見付ける。</p> <p>【単元全体の課題設定】 原爆に関する詩を読み、それらの詩を活用して平和について考え、アピールしよう！</p> <p>○ 課題解決の見通しをもつ。</p>	① 今年(戦後)70年	%	② 広島に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月6日8時15分	%	③ 終戦日は、8月15日	%	④ 長崎に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月9日11時2分	%	⑤ 広島県で空襲にあったのは福山市と呉市	%	項目		H7年	H12年	H17年	H22年	「広島原爆投下の正確な年・月日・時分」についての知識・理解(全て正解の場合)	小学生	55.7%	35.2%	49.6%	33.0%	中学生	74.7%	63.0%	67.6%	55.7%	高校生	—	—	—	66.3%	○				<p>・文章や資料に関心をもち、自分の考えをもとうとしている。 (関 発言 ワークシート)</p> <p>【思考力】 事象などから分析し、変化や矛盾に気付くことができる。(ワークシート)</p>
	① 今年(戦後)70年	%																																				
② 広島に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月6日8時15分	%																																					
③ 終戦日は、8月15日	%																																					
④ 長崎に原爆が投下されたのは、1945(昭和20)年8月9日11時2分	%																																					
⑤ 広島県で空襲にあったのは福山市と呉市	%																																					
項目		H7年	H12年	H17年	H22年																																	
「広島原爆投下の正確な年・月日・時分」についての知識・理解(全て正解の場合)	小学生	55.7%	35.2%	49.6%	33.0%																																	
	中学生	74.7%	63.0%	67.6%	55.7%																																	
	高校生	—	—	—	66.3%																																	
<p>整理・分析</p> <p>2 資料(=詩)を的確に読み取る手順を学び、表現の工夫やその効果について評価することができる。</p> <p>○【詩を読み取る手がかり】に沿って特徴を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成(連、繰り返し) ・表現技法(繰り返し、リズム、語尾、擬音語、擬態語、比喻、韻、表記) ・その他(描かれている人物像、背景、視点、題名、象徴性、暗示性など) <p>○詩の特徴について、自分の考えや感じたことを書く。</p>	<p>情報の収集</p> <p>【並行読書】平和をテーマにした詩集を読み、平和についての思いをまとめる。</p>	◎			<p>・語句の使い方や表現の工夫、その効果について評価しながら読み、3つの詩の特徴を書いている。 (読ア・ワークシート)</p> <p>○ 詩に用いられている漢字を正しく読んでいる。 (言ウ(イ)) 行動観察)</p>																																	

2次	情報の収集	整理・分析	【並行読書】 平和をテーマにした詩集を読み、 平和についての思いをまとめる。	○	<p>3 資料（＝詩）を的確に読み取る手順を学び、作者の思いとその思いについての自分の考えを説明することができる。</p> <p>○【5W1H】の視点に沿って、資料【B】からわかることを読み取り、シンキングツールに書き込む。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>①when…時代, 季節, 日時, いつ書かれたものか</p> <p>②where…国, 場所, 場面設定</p> <p>③who…誰について, 誰に向けて, 誰の視点</p> <p>④what…何について, どんなこと</p> <p>⑤why…なぜこの作品を書いたのか, 作者の思い</p> <p>how…どのように, どのような (5Wを詳しくする)</p> </div> </div> <p>※ 正解・不正解, 関係あるないに関わらず, 自分の意見を大切にする。</p> <p>○読み取った事柄①～④を関連付け, 作品に描かれている内容をまとめ, 作者思いとその思いに対する自分の考えを書く。</p>	<p>・詩を読み, 作者の思いについて自分の意見をもって いる。 (読む ワークシート)</p>	<p>【思考力】 整理・分析・関連させながら作者の思いを考えている。(ワークシート)</p>
	情報の収集	整理・分析		整理・分析	○	<p>4 5W1Hの視点で, 資料AとCについて読み取り, 作者の思いとその思いに対する自分の考えを説明することができる。</p> <p>○【5W1H】の視点に沿って, 資料からわかることを読み取り, シンキングツールに書き込む。</p> <p>○読み取った事柄①～④を関連付け, 作品に描かれている内容をまとめ, 作者思いとその思いに対する自分の考えを書く。</p> <p>○資料A～Cと並行読書で読んできた詩それぞれの構成や展開, 表現の仕方, 作者の思いを比較し, 共通点と相違点を明らかにした上で, 自分がちらして紹介するならばどの詩が良いか見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(家庭学習)</p> <p>並行読書で読んでいる作品についても, 3・4の学びで得た「詩を読む力」「考えをもつ力」を活用して, 作者の思いとその思いについての自分の考えをまとめる。</p> </div>	<p>・詩を読み比べ, 作者の思いについて自分の意見をもっている。 (読む ワークシート)</p>

3 次	まとめ・創造・表現	<p>5 平和や戦争について、アピールしたい内容を明確にすることができる。 ○ワークシートにまとめたことをふりかえり、訴える対象を焦点化する。 ○アピールしたい内容に対して、ふさわしい詩であるか互いに評価し合う。 ○アドバイスを受けての推敲をする。</p> <p>6 「詩の形態の良さ」や「発信することの価値」を見出し、「効果的な発信方法」を選択することができる。 ○「詩の形態の良さ」を知る。 ○発信。表現することの価値について考える。 ○どの媒体でアピールするのかを決める。 ちらし、リーフレット、ポスターなど</p>	○	○	○	<p>・資料（詩）を読み、課題を踏まえた自分の意見をもっている。 （読エ ワークシート）</p> <p>・情報を発信するための様々な媒体の特徴を捉え、その効果について意見をもっている。 （書ア ワークシート）</p>	<p>【責任感】 戦争や平和について自分の考えをもち、アピールするちらしを作成している。（ワークシート）</p>
	実行	<p>7 平和をアピールするためのちらしを作る。 1次の学習で発見した、私たちの課題について、自分の考えをもち、効果的な作品を作る。</p>	○	○	○	<p>・資料（詩・表）を適切に取り入れながら、全体の構成を工夫し、読み手を引きつけるちらしを作成している。 （書イ ワークシート）</p>	
	ふりかえり	<p>8 書いた作品を互いに評価し合い、「伝える極意〇か条」を作る。 ○ちらしとちらしで紹介した詩、またその詩を選んだ理由を互いに発表し合い、相互評価したうえで改善を図りちらしを完成させる。 （評価の観点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩に込められた作者の思いが明確か。 ・詩に込められた作者の思いを踏まえて自分の平和への思いを訴えかけているか。 ・選んだ詩の理由（作者の思い、構成や展開、表現の仕方）が明確か。 ・学生に訴えかけることができるか（分かりやすさ、印象深さ等）。 	○	○	○	<p>・ちらしの構成の仕方や表現の仕方などについて評価して、自分の表現に役立てようとし、「伝える〇か条」を作っている。 （書エ ワークシート）</p>	

7 本時の学習

(1時間目) 本時の目標：資料を的確に読み取り、課題を見つけることができる。

	学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準	教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)																																
導入	<p>1 アンケートを提示する。 クラス調査の結果を伝える。</p> <p>資料を的確に読み取って課題を見つけ、解決の見通しをもつことができる。</p>																																			
展開	<p>2 資料から分かること、疑問や課題を見つける。 自分のクラスの結果も合わせて、資料からわかること・そこから見える課題について考える。</p> <table border="1"> <tr> <td>① 今年(戦後)70年</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>② 広島に原爆が投下されたのは、 1945 (昭和20) 年8月6日8時15分</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>③ 終戦日は、8月15日</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>④ 長崎に原爆が投下されたのは、 1945 (昭和20) 年8月9日11時2分</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>⑤ 広島県で空襲にあったのは福山市と呉市</td> <td>%</td> </tr> </table>	① 今年(戦後)70年	%	② 広島に原爆が投下されたのは、 1945 (昭和20) 年8月6日8時15分	%	③ 終戦日は、8月15日	%	④ 長崎に原爆が投下されたのは、 1945 (昭和20) 年8月9日11時2分	%	⑤ 広島県で空襲にあったのは福山市と呉市	%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th>H7年</th> <th>H12年</th> <th>H17年</th> <th>H22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「広島原爆投下の正確な年・月・時分」についての知識・理解 (全て正解の場合)</td> <td>小学生</td> <td>55.7%</td> <td>35.2%</td> <td>49.6%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>74.7%</td> <td>63.0%</td> <td>67.6%</td> <td>55.7%</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目		H7年	H12年	H17年	H22年	「広島原爆投下の正確な年・月・時分」についての知識・理解 (全て正解の場合)	小学生	55.7%	35.2%	49.6%	33.0%	中学生	74.7%	63.0%	67.6%	55.7%	高校生	—	—	—	66.3%		
	① 今年(戦後)70年	%																																		
② 広島に原爆が投下されたのは、 1945 (昭和20) 年8月6日8時15分	%																																			
③ 終戦日は、8月15日	%																																			
④ 長崎に原爆が投下されたのは、 1945 (昭和20) 年8月9日11時2分	%																																			
⑤ 広島県で空襲にあったのは福山市と呉市	%																																			
項目		H7年	H12年	H17年	H22年																															
「広島原爆投下の正確な年・月・時分」についての知識・理解 (全て正解の場合)	小学生	55.7%	35.2%	49.6%	33.0%																															
	中学生	74.7%	63.0%	67.6%	55.7%																															
	高校生	—	—	—	66.3%																															
<p>【個人→小グループ→全体→個人】</p> <p>T 資料を見てわかること、気づきを書こう。 (わかること、気づき)</p> <p>S 全て正解の人が年々減ってきている。</p> <p>S 広島市の人の方が正解率が低い。</p> <p>S 節目の年には少し正解が増えている。 (課題)</p> <p>T なぜ、このような結果になっているのか。考えられる課題や問題を書こう。</p> <p>S 年々と正確に答えられる人が少なくなっていることから、原爆や戦争への関心が低下してきている。</p> <p>S 節目の年には意識が高まるが、日々の生活の中では考えるが、普段は考えない。</p> <p>S 自分たちの住んでいる広島については、知っているが、離れた地についての知識がない。同じ日本なのに、自分たちのこととして考えられていない。</p> <p>S 自分には関係ないと思っている。</p> <p>T このままでいいのかな？ どうしたらいいかな。</p> <p>S 学び直さないといけない。</p> <p>S みんなに伝えないといけない。</p>	<p>○どんな点に着目して資料を分析すればよいかを確認する。 ・比較する ・変化 ・差</p> <p>○的確に読み取るため、グラフで表したものを提示する。</p> <p>◆ヒントカードを与えて、どこの数値のことかを考えさせる。 多い・少ない 減った・増えた 大きい・小さい</p> <p>◆良いこと・良くないことか尋ね、その理由を言わせることで、課題意識がもてるようにする。</p> <p>○自分だけでなく、広島県や日本の課題であることを確認する。</p>	<p>★【思考力】 事象などから分析し、変化や矛盾に気付いている。(ワークシート)</p>																																		
	<p>【単元全体の課題設定】 原爆に関する詩を読み、それらの詩を活用して平和について考え、アピールしよう！</p>																																			

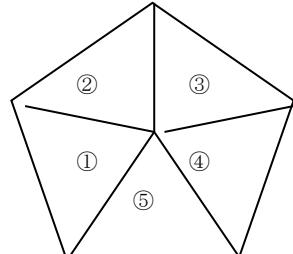
ま と め	<p>T 意識調査の結果から平和についての意識が低下していることがわかります。そこで戦争や平和について、作者の思いが凝縮され、表現技法や構成、暗示性や象徴性の高い言葉の選択などの工夫によって、平和について訴えかける力の強い「平和についての詩」を、自分の考えをもつための材料とします。みんなで読む詩と、自分で選んで読む詩を材料に自分の考えを深め、平和についてアピールしよう。</p> <p>3 課題解決の見通しをもつ。 平和についてのポスターやちらし等のモデルを見て単元全体の課題解決の見通しをもつ。</p> <p>①詩に表された平和への思いを読み取るために、詩の読み方を知る。 ②平和についての自分の考えをもつために、詩に表された平和への思いを読み取る。 ③平和についての考えを広げるために、詩を選んで読む。 ④効果的な発信の在り方について知る。 ⑤複数の詩を選んで読んだ内容を総合して考えをもち、発信する。</p> <p>4 本時の学習と次時の予告をする。</p> <p>㊦意識調査やクラスの結果を踏まえて、原爆や平和について考えたことを書こう。 ㊧原爆について、情報を集める。</p>	<p>○今後の見通しや、学習の意味を意識させるため、進度がわかるようにする。</p> <p>○自分の予想とどうであったかなど、調査結果を踏まえさせる。 ◆数字に着目させ、良いか・悪いか、なぜそう思うのかを書かせる。</p>	<p>○文章や資料に関心をもち、自分の考えをもとうとしている。 (関 発言 ワークシート)</p>
-------------	--	---	---

(2時間目) 本時の目標：資料（詩）を的確に読み取る手順を学び、表現の工夫やその効果について評価することができる。

	学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)																												
導入	<p>1 本時の学習の確認をする</p> <p>資料（詩）を的確に読み取る手順を学び、表現の工夫や効果を説明することができる。</p>	○情報収集する際、新聞・テレビ等が多いが、作品も資料として研究されていることを伝え、情報収集する資料となることを押さえる。																													
展開	<p>2 資料を的確に読み取るための手順を学ぶ。</p> <p>【詩を読み取る手がかり】にそって、3編の詩の特徴を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 構成（連、繰り返し） ○ 表現技法（繰り返し、リズム、語尾、擬音語、擬態語、比喻、韻、表記） ○ その他（描かれている人物像、背景、視点、題名、象徴性、暗示性など） 	<p>○資料を的確に読み取ることが大前提であることを押さえる。</p> <p>○簡単に見つかる要素から取り組ませ、意欲を喚起する。</p> <p>○特徴を捉えながら、どんなことを表しているのか考えられるよう促す。</p> <p>◆例を示して、手がかりとさせる。</p> <p>◆ワークシートに記入したことを、比較しながら、気がついたことを書かせる。</p>	○詩に用いられている漢字を正しく読んでいる。 (言語ウ (イ) 行動観察)																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他</th> <th>表現技法</th> <th>構成</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作者 櫻田</td> <td>地球が原爆を数百個所持して、生と死のきわどい淵を歩くとき</td> <td>擬音語・擬態語 顔 繰り返り 一九四五年八月六日 午前八時十五分 友 二五五人</td> <td>六連 【A】</td> </tr> <tr> <td>市にいた人 被爆直後の広島</td> <td>漫画ノ国ノ化ケ モノノ ウラメシヤアノ 槍刃カ</td> <td>シユボツ ザザザザ ヒソソリト フラフラ スツボリ ヨチヨチ ブランブラン ハテンモナイ</td> <td>七連 【B】</td> </tr> <tr> <td>原爆で家族をなくした人</td> <td>くずれぬへいわ</td> <td>かえせ へいわ わたし にげん</td> <td>三連 【C】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・読者の想像を膨らませる。 ・たとえを使って、分かりやすくさせる。</td> <td>・その瞬間の様子がよくわかる。 ・読者に想像させる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・繰り返すことで強調される。 ・読者に伝えたいこと。</td> <td>・繰り返すことで強調される。 ・読者に伝えたいこと。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・印象が変わる。 ・カタカナだと感情が伝わりやすい。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	その他	表現技法	構成		作者 櫻田	地球が原爆を数百個所持して、生と死のきわどい淵を歩くとき	擬音語・擬態語 顔 繰り返り 一九四五年八月六日 午前八時十五分 友 二五五人	六連 【A】	市にいた人 被爆直後の広島	漫画ノ国ノ化ケ モノノ ウラメシヤアノ 槍刃カ	シユボツ ザザザザ ヒソソリト フラフラ スツボリ ヨチヨチ ブランブラン ハテンモナイ	七連 【B】	原爆で家族をなくした人	くずれぬへいわ	かえせ へいわ わたし にげん	三連 【C】		・読者の想像を膨らませる。 ・たとえを使って、分かりやすくさせる。	・その瞬間の様子がよくわかる。 ・読者に想像させる。			・繰り返すことで強調される。 ・読者に伝えたいこと。	・繰り返すことで強調される。 ・読者に伝えたいこと。			・印象が変わる。 ・カタカナだと感情が伝わりやすい。				
その他	表現技法	構成																													
作者 櫻田	地球が原爆を数百個所持して、生と死のきわどい淵を歩くとき	擬音語・擬態語 顔 繰り返り 一九四五年八月六日 午前八時十五分 友 二五五人	六連 【A】																												
市にいた人 被爆直後の広島	漫画ノ国ノ化ケ モノノ ウラメシヤアノ 槍刃カ	シユボツ ザザザザ ヒソソリト フラフラ スツボリ ヨチヨチ ブランブラン ハテンモナイ	七連 【B】																												
原爆で家族をなくした人	くずれぬへいわ	かえせ へいわ わたし にげん	三連 【C】																												
	・読者の想像を膨らませる。 ・たとえを使って、分かりやすくさせる。	・その瞬間の様子がよくわかる。 ・読者に想像させる。																													
	・繰り返すことで強調される。 ・読者に伝えたいこと。	・繰り返すことで強調される。 ・読者に伝えたいこと。																													
	・印象が変わる。 ・カタカナだと感情が伝わりやすい。																														
まとめ	<p>3 表現の効果について考える。</p> <p>なぜその表現を用いたのか、用いることでどんな印象を受けるのかを考えさせる。</p> <p>【A】・・・○具体的な日時や数字を繰り返し用いている。事実を伝え、読者に過去の出来事に向かわせようとしている。</p> <p>○擬人法を用いることで地球全体が抱える問題（＝自分自身の問題）であり、</p>	○自分が受けた印象を大切にしつつ、表現技法の効果からも考えさせる。	○語句の使い方や表現の工夫やその効果について評価しながら読み、3つの詩の特徴を書いている。 (B読ア ワークシート)																												

<p>進行していることを表現しようとした。</p> <p>【B】…○漢字とカタカナで表記されている。他の表記とは異なり、機械的な印象を与える。＝思考がストップ、感情が麻痺</p> <p>○非現実的な世界のものをたとえに用いている。この世のものとは思えない悲惨な光景であったことが伝わる。</p> <p>【C】…○短い詩のほとんどが「かえせ」という言葉。それほどの強い思い、また奪われたものの多さ、大きさを表現している。奪われた者の悲しみや怒りを表現。</p> <p>4 学習の振り返りと次時の予告をする。</p> <p>㊦ 3編の詩のように、同じ題材でも違う構成、表現がされているのはなぜか、自分なりの予想をしてみる。</p> <p>㊧ 資料である詩を読み取る手順を学ぶ。</p>	<p>○同じ題材を同じ形態で扱っていても、三者三様であることを押さえる。</p> <p>→なぜ？につながるように</p>	
--	--	--

(3時間目) 本時の目標：資料(詩)を的確に読み取る手順を学び、作者の思いについて説明できる。

学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>1 本時の学習の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">資料(詩)を的確に読み取る手順を学び、作者の思いについて説明できる。</div> <p>2 〈5W1H〉の視点の確認をする。</p> <p>① when…時代, 季節, 日時, いつ書かれたものか</p> <p>② where…国, 場所, 場面設定</p> <p>③ who…誰について, 誰に向けて, 誰の視点</p> <p>④ what…何について, どんなこと</p> <p>⑤ why…なぜこの作品を書いたのか, 作者の思い</p> <p>how…どのように, どのような (5Wを詳しくする)</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>○「⑤why」は①～④を関連付けて考えさせる。「部分」読みから「全体」の読みへ思考させる。</p> <p>◆いくつか詩の中の言葉や表現を指定し、考えさせる。</p>	

3 資料（詩）を読み取る。

〈5W1H〉の視点で【B】の詩を読み取る。

- ①when・・・1945年8月6日午前8時15分直後
- ②where・・・爆心地に近い場所
- ③who・・・被爆した人の姿
被爆し、かろうじて生き残った人
爆心地を訪れた人
- ④what・・・原爆が落ちた瞬間 原爆で建物などが崩れた様子
原爆により、変わり果てた広島市や人々の姿
原爆の威力、恐ろしさ

4 ⑤why作者の思いを説明する。

①～④を関連付け、作者はなぜこの詩を書いたのか、作者の思いを説明する。

㊦作者は、原爆が投下された直後の様子を生々しく描いている。作者は、この過去が忘れ去られることなく、二度と同じ過ちが繰り返されることのないように、原爆直後を描き、その恐ろしさを伝えている。

5 集団学習をする。

グループで交流し、他者の考えを取り入れ、理解を深める。

6 学習の振り返りと次時の予告をする。

〈5W1H〉の視点と、それらを関連付けることで、作者の思いに迫ることができることを確認する。

㊦作者の思いに対する自分の考えを書こう。

㊦本時の学習を生かし、BとCの詩について読み取り、作者の思いを説明する。

- 正解・不正解、関係あるないに関わらず、自分の意見を大切にしようと伝える。
- 練習なので、考え方を誘導しながら、チャートに書き入れていく。

○詩を読み、作者の思いについて自分の意見をもっている。
(C読むウ ワークシート)

- ①～④から読み取った事柄を関連付け、考えさせる。

◆「誰に向けて、どんなことを訴えている」の形で考えさせる。

- 良い表現や、考え方は赤ペンでメモさせる。

- 「全体」から「部分」、 「部分」から「全体」の読みをすることにより、理解を深めることができることを押さえる。

(4時間目) 5W1Hの視点で、BとCの詩について読み取り、作者の思いを説明することができる。

学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>1 前時の復習と本時の学習の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">5W1Hの視点で、AとCの詩について読み取り、作者の思いを説明する。こ</div> <p>2 資料を分析する。【個人→小グループ→全体→個人】 〈5W1H〉の視点で、BとCの詩を読み取る。</p> <p>【A】</p> <p>①when…1945年8月6日午前8時15分 原爆投下から、時がたっている</p> <p>②where…広島市のこと 世界中へ</p> <p>③who…原爆でなくなった方、被爆した方 この世にいない人 友＝戦争や原爆を知らない、体験をしたことのない人</p> <p>④what…原爆が世界中にあること 原爆や戦争について忘れてしまっている 平和だと安心していること 油断していること</p> <p>【C】</p> <p>①when…1945年8月6日午前8時15分直後、少したってから</p> <p>②where…爆心地から近い 避難している少し離れたところ</p> <p>③who…原爆で家族を失った人 当時、子どもだった人</p> <p>④what…原爆により、家族を失った悲しみや恨み、つらさ 絶対に繰り返してはならないという願い</p> <p>3 作者の思いを説明する。 ①～④を関連付け、作者はなぜこの詩を書いたのか、作者の思いを説明する。</p> <p>【A】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎作者は、原爆が投下されたことや、世界中に原子爆弾が何万もあることを忘れ、安心式って暮らしている「私たち」に警鐘を唱えている。当時も、原爆が投下されるとは思っておらず、油断していた。原爆や戦争、平和についてしっかりと考えなければならぬというメッセージが込められている。</div>	<p>○〈5W1H〉の視点と、思考の流れの確認をする。</p> <p>○全てが埋まらない場合もあることや、正解・不正解にこだわらず、考えた事柄は積極的に記入することを大切にさせる。</p> <p>◆大事だと思う部分を抜き出し、ワークシートに記入させる。</p> <p>○交流をし、他者の考えを赤ペンで記入させる。</p> <p>○①～④から読み取った事柄を関連付け、考えさせる。</p> <p>◆「誰に向けて、どんなことを訴えている」の形で考えさせる。</p> <p>○グループで交流し、他者の考えを取り入れ、理解を深める。</p>	<p>○詩を読み比べ、作者の思いについて自分の意見をもっている。(C読む エ)</p> <p>★【思考力】 整理・分析・関連させながら考えることができている。(ワークシート)</p>

【C】

㊦ 「かえせ」という言葉が何度も繰り返されている。原爆により死んでしまった大切な人、平和な日々、未来、原爆により奪われた全てのかえせという、怒りや悲しみ、憎しみなど被爆者や遺族の思いが伝わってくる。原爆は、全てのかえせを奪い、遺されたものには苦しみしか与えないのだと作者は訴えている。

4 集団学習をする。

グループで交流し、他者の考えを受け入れ、理解を深める。

5 次時の予告と学習の振り返りをする。

㊦ 作者の思いに対して、自分の考えを書こう。

㊦ どんなことをアピールしていけば、関心をもち、平和や戦争についてかんがえてくれるだろうか。

○良い表現や考え方は赤ペンでメモさせる。

(5時間目) 平和や戦争について、アピールする内容を明確にすることができる。

学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>1 前時の復習と本時の学習の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">平和・戦争について、アピールする内容を明確にする。</div> <p>2 訴える対象を焦点化する。 単元を貫く課題の確認をする。 原因の中で、特にどれを対象としてアピールしていくか決める。</p> <p>3 材料を集める。 ・2の人にはどんなことを訴えていく必要があるか、作者の思いや自分の考えから材料を探し、線を引く。 ・ちらしに載せる詩を決める。</p> <p>4 グループで読み合い、アドバイスし合う。 【視点】 ・訴えたい内容が明確か→アピールしたいことは何か なぜそれをアピールするのか それをアピールするとなぜ平和や原爆について考えてもらえるのか ・選択した詩の妥当性→訴えたい内容と選んだ根拠の整合性はあるか</p> <p>5 アドバイスを受けて推敲する。</p> <p>6 次時の予告をする。 ⊗どんな形式で訴えると効果的だろうか。</p>	<p>◆自分をもっとも重大な原因だと思うものを選ばせる。</p> <p>◆作者の思いで共感した部分、どんなことを伝えなければならないかを考えさせる。</p> <p>○作者の思いや詩を通して訴えていることの違いに着目させ、自分の思いと比較させる。</p> <p>◆最も共感できた詩を選ばせる。共感をもったことを根拠としてあげさせる。</p> <p>○良い点、もっと聞きたいところ、分かりにくいところなどをアドバイスする。</p> <p>◆良いと思ったところを伝える。</p> <p>○どんな発信手段があるか家庭学習で考えてくることを予告し、次時につなげる。</p>	<p>○資料を読み、課題を踏まえた自分の意見をもっている。(C読む エ ワークシート)</p>

(6時間目)「詩の形態の良さ」や「発信することの価値」を見出し、「効果的な発信方法」を選択することができる。

学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>1 前時の復習と本時の学習の確認をする</p> <p>「詩の形態の良さ」や「発信することの価値」を見出し、「効果的な発信方法」を選択することができる。</p> <p>2 「詩の形態の良さ」を知る。 ○詩の特徴・良さは何だろう。なぜ作者は詩を選んだのだろうか。</p> <p>◎短い文の中に作者の思いが凝縮されている。 ・吟味された言葉や表現が用いられている。 ◎説明などは省き、詩を読み込み、吟味した言葉から、しっかりと考えてもらうため。</p> <p>3 発信・表現することの価値について考える。 ・多くの人に知ってもらうため。 ・常に意識するため。 ・記録として残しておくため。 ・発信することを通し、自分自身で考えるため。</p> <p>4 発信するための媒体とその特徴を知り、どの媒体でアピールするのかを決める。 ○どんな媒体があるだろうか。その違いを理解しよう。 ・テレビ ・ラジオ ・小説 ・写真 ・新聞…定期刊行物。号外も含まれる。ただし題字があつて表紙がないものをさし、表紙がある雑誌と区別される。広告もしばしば掲載される。 ・レポート…報告書 ・パンフレット…宣伝、広告、案内、説明などの印刷物で複数ページあり、かつ簡易的に綴じられた小冊子。 ・リーフレット…宣伝、広告、案内、説明などのために、1枚の紙に刷られた印刷物。 ・ちらし…町中のあちらこちらに散らばるように配られていた印刷物。 ・ポスター…広告、宣伝のため、図案・写真・文章からなるはり紙。</p> <p>○どの媒体でアピールすればよいだろうか。</p> <p>◎わたしは、ちらしが良いと思います。まず、1枚の紙ででき、気軽に手にとってもらえるという理由があります。また、吟味された言葉や表現を使うことで、伝えたいことが、読む人にしっかりと効果的に伝わると思います。</p>	<p>○短い文だからこそ、筆者の吟味された言葉や表現があることを知る。</p> <p>○発信・表現することの価値を捉えさせる。</p> <p>◆情報はどんなものから得ているかを思い出させる。</p> <p>○他の形態と比較し、詩の特徴や良さに気付かせる。</p> <p>○伝えたいことと選んだ媒体についてペアで交流し、伝えたいことに応じた媒体を選ばせる良さに気付かせる。</p>	<p>○情報を発信するための様々な媒体の特徴を捉え、伝えたいことに応じた媒体を選び、理由を説明している。 (B書くア ワークシート)</p>

<p>5 学習の振り返りと次時の予告をする。</p> <p>㊦発信することの価値や、文章の形態（詩の良さ）や効果的な発信のあり方について、気付いたことや考えたことを書こう。</p> <p>㊧平和を訴えるちらしを作成することができる。</p>		
--	--	--

(7時間目) 平和をアピールするためのちらしを作成することができる。

学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>1 前時の復習と本時の学習の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">平和をアピールするためのちらしを作成する。</div> <p>2 ちらしに書くべき事柄を知る。</p> <p>○複数のちらしを比べ、どんなことが載せられているのか、どんな工夫がされているかを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル (見出し) → 一番大きくし目立つように ・写真 → どんな内容なのか、創造させる。 ・キャッチコピー (フレーズ) → 短い言葉だが、読む人の心に残る ・小見出し → おおまかな内容がわかる。 <p>3 構成を工夫し、アピール性の高いちらしを作る。</p> <p>○2で見つけたポイントを取り入れながら、作成する。</p> <p>4 互いに見合い、評価する。</p> <p>○工夫した点とその理由・効果を説明し、互いに評価をし合う。</p> <p>5 評価・アドバイスを生かし、ちらしを完成させる。</p> <p>6 本時の振り返りと次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㊦ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㊦ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 	<p>○複数のちらしを比べさせることで、ちらしの特徴をつかませる。</p> <p>◆ちらしを見たときに、最初に目に付く部分はどこなのかを考えさせる。</p> <p>○前時までの振り返りを見直し、何を伝えたいのか再度確認させる。</p> <p>◆見習いたいなと思うところを指摘させる。</p>	<p>○資料 (詩・表) を適切に取り入れながら、全体の構成を工夫し、読み手を引きつけるちらしを作成している。 (B書くイ ワークシート)</p> <p>【責任感】</p> <p>★戦争や平和について自分の考えをもち、アピールするちらしを作成している。(ワークシート 振り返り)</p>

(8時間目) ちらしを互いに評価し合い、伝える極意〇か条を作ることができる。

学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>1 前時の復習と本時の学習の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ちらしを互いに評価し合い、伝える極意〇か条を作る。</p> </div> <p>2 ちらしにはどんな工夫があり、どんな効果をねらっているか評価する。 ○ちらしを見て、どんな印象を持ったか。どんなことを感じたのかを作成者に伝える。</p> <p>3 「伝える極意〇か条」を考える。 ○作り手と読み手とのズレから、「作り手」として、どんなことに注意する必要があるだろうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① 1つ 何を一番伝えたいのかはっきりと決める！ 2つ 誰に対して伝えようとしているのかを決める！ 3つ その人はどんなことに興味をもつのかを考える！</p> </div> <p>4 「伝える極意〇か条」とその理由を発表し合う。</p> <p>5 単元のまとめとして、次の3つを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①読み手として気を付けなければならないこと。 ②伝える側として気を付けなければならないこと。 ③学習を通して、学んだことはどんなこと。</p> </div>	<p>○前時の振り返りを見て、作り手と読み手とのズレを感じさせる。</p> <p>◆ちらしを作成するときに注意したことを思い出させる。 ◆複数のちらしを比較して見つけたポイントを思い出させる。</p> <p>○生活や他の教科・領域で活用できる力や考え方を意識させる。</p>	<p>○ちらしの構成の仕方や表現の仕方などについて評価して、自分の表現に役立てようとし、「伝える〇か条」を作っている。</p> <p>(B書くエ ワークシート)</p>